

手術に関する同意書

□7. 計画される医療行為（外科手術）の危険性および合併症

心臓手術の合併症は重篤になる場合があります。どのような重症度であっても最悪の状態としては亡くなる可能性もあるため手術のリスクに関して理解できない場合は繰り返し獣医師にお尋ねください。

- ① 出血
- ② 不整脈
- ③ 換気不全（肺水腫など）
- ④ 腎不全
- ⑤ 肺炎（嘔吐）
- ⑥ 血栓
- ⑦ 神経症状（発作・痙攣）
- ⑧ 感染性心内膜炎
- ⑨ 輸血の副作用（溶血など）
- ⑩ プロタミンショック
- ⑪ その他

現時点で予測困難な合併症が生じたりする場合があります。

□8. 手術の成功率について

現在のところ、手術は9割以上の患者さんが退院します。手術の成功は本人の状態などによっても左右されます。

□9. 手術を受けている年齢

心臓外科チームでは5-15歳までの患者さんに手術をしています。多くは9-13歳の患者が多いです。

□10. 手術の費用について

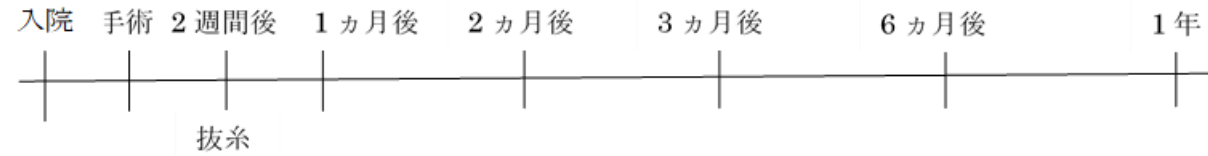
手術費用の総額 130-160万前後（税別）（入院から退院までの総額）

内金をいただいております（各病院にて異なります）。

※心臓外科手術は人工心肺など医療材料が非常に高額であり、多くの人員を要して手術をするため、内金をいただいております。

※緊急手術の場合や、術後の管理内容、入院期間などで費用が高くなる場合があります。

※手術および術後管理にかかった費用に関して返金はできません。



□11. この医療行為を行わなかった時の見込み

心臓手術を行わなかった場合でも、これまでの内科治療（投薬）にて延命できることがあります。内科治療をご希望の場合は、主治医に従って内科治療を継続してください。

「手術に関する説明書」に記された内容について、十分な説明を受けるとともに質問する機会を得ました。

この説明により予定されている 僧帽弁閉鎖不全症の手術 における治療効果および治療リスクを十分に理解しました。担当獣医師の指示による手術を同意致します。また、手術・入院中に緊急の処置を行う必要が生じた場合には、適宜処置されることも承諾致します。

年 月 日

飼主名.....印

動物名.....

犬と猫の心臓外科
URL: <https://cssdc.jp/>
Email: n.kanno@cssdc.jp